

単元構想シート

〇〇中学校 第2学年 数学科

単元名「 平行と合同（図形領域） 」

全15時間

単元目標 (育成したい資質・能力)	<ul style="list-style-type: none"> ・基本的な平面図形の性質を理解することができる。 ・証明の必要性と意味及びその方法について理解することができる。 ・基本的な平面図形の性質を見だし、平行線や角の性質を基にしてそれらを確認説明することができる。 ・三角形の合同条件などを基にして平面図形の基本的な性質を論理的に確かめ表現することができる。 ・平面図形の基本的な性質を見だすなどの数学的な活動を通して、数学のよさを実感し、粘り強く考えようとしている。 	二 三 の 側 面	A…主に文章や図、グラフから読み解き理解する力 B…主に他者とのやりとりから読み解き理解する力	①発見・蓄積 必要な情報を確かに取り出す ②分析・整理 情報を比較し、関連付けて整理する ③再構築 自分なりに解決し、知識を再構築する
----------------------	--	-----------------------	--	--

単元の流れ ○主な学習活動 □指導上の留意点	「読み解く力」を育成するための手立て	「読み解く力」の育成に重点をおいた目指す児童生徒の姿	
		A：文章・グラフ・図から	B：やりとりから
第1次 ①公理や証明の意味について知る。 ②対頂角や平行線の性質について理解する。 ③平行線の性質や平行線であるための条件について理解する。 ④平行線の性質を基にして、三角形の内角と外角についての性質を調べる。 ⑤補助線を引くことにより既習の性質を基にして、新たな図形の性質を調べる。 ⑥既習の性質を基にして、多角形の内角の和を求める式を求める。 ⑦既習の性質を基にして、多角形の外角の和の性質を求める。 ⑧既習の性質を基にして、星形五角形の性質を調べる。	○学習に対する目的意識をもつ工夫 ・単元の最初に、単元で育成する資質・能力に関わる学習課題を提示し、生徒が学ぶ目的を理解し、見通しをもつことができるようにする。 ・毎時間の授業で、生徒の疑問からめあてをつくることで、授業の目的を共有し、主体的な姿勢を引き出す。 ○「読み解く力」を、高め、発揮するための手立て ・既習内容から課題解決に必要な情報を見つけ、いつでも見返すことができるように、ノートやファイルに学習の跡を残す。 ・自力解決に必要な時間を十分に確保する。 ・根拠を明確にして説明することができるかなど、個々の生徒の見取りを丁寧に行う。 ・振り返りの視点を明確にし、どのように解決したのかを言語化できるようにする。 ・考えたことや選んだ根拠が適切かどうかを確認するために、ペアや全体で交流できる場面を設定する。	①文章や資料等から、目的に応じて情報を取り出す ・学習課題の解決に向けて、図形の中から必要な情報を取り出している。	①相手の言葉、しぐさ、表情をもとに相手の思いを感じ取る ・説明し合ったり発表したりする中で、他者の考えやその根拠を理解している。
第2次 ⑨合同な三角形のかき方を基にして、三角形の合同条件について調べる。 ⑩三角形の合同条件を基にして、2つの三角形が合同かどうか判断する。 ⑪2つの三角形が合同になるための残りの条件を調べる。 ⑫証明のしくみや仮定と結論の意味を理解する。 ⑬三角形の合同条件を基にして2つの三角形の合同を証明する。	(この欄は第1次の手立てと重複するため、ここでは省略)	②様々な情報を比較し、目的に応じて分析したり、整理したりする ・取り出した情報を、目的に応じて、選んだり関連付けたりして整理している。	②相手の思いや意図を自分の考えや経験と比較しながら整理する ・他者の考えと自分の考えとを比較し、共通点や相違点を捉えて整理している。
第3次 ⑭既習の性質を基にして、いろいろな図形の角の和の性質を調べる。 ⑮既習の性質を基にして、直接には測定できない距離を測定する方法を調べる。	(この欄は第1次の手立てと重複するため、ここでは省略)	③解釈した内容を経験や知識と結び付けながら考えを深めたり、創造したりする ・取り出した情報を、目的に応じて、選んだり関連付けたりして整理している。	③やりとりを通して、相手の思いや意図を踏まえながら、自分の考えを確かなものにしたり、創造したりする ・他者とのやりとりや自己内対話を通して、考えをより確かにしたり、知識をより確かにしたり新たに構築したり、新しい問いを見いだしたりしている。